

大衡村食生活改善推進員会30周年祝賀会

大衡村食生活改善推進員会が発足30周年を迎え、2月27日(月)、福祉センターにおいて、会員44名が参加し祝賀会が開催されました。

30周年を記念し、食生活改善推進員会のこれまでのあゆみと、郷土料理やおおひらの味伝えたいプロジェクト委員による伝えていきたいレシピを載せた冊子を作成しました。

祝賀会では、冊子に掲載した料理の中から「すっぽこ汁」や「ふわっとにらチヂミ」など8品を会員で調理し、懐かしい料理や工夫を凝らした料理を味わいながら、今までの活動を振り返り楽しいひと時を過ごしました。



万葉の里さんぽみち



健康と食生活について学びました

2月21日(火)、福祉センターにおいて保健・栄養セミナー閉講式を開催し、受講生10名に修了証書を授与しました。

保健・栄養セミナーは、食生活改善推進員を養成することを目的に、昨年11月から7回にわたり健康と食生活、食品衛生、調理実習など所定のカリキュラムを行いました。修了生は「村民の健康状況と医療費の関係を学び、予防の大切さを改めて実感した」「食の衛生管理について初めて知る機会になりよかった」とセミナーを振り返っていました。

今後、家族や地域住民の健康づくり活動において活躍が期待されます。



100歳の長寿をお祝いして

3月2日(木)、100歳を迎えられた八鍬ちよじさん(衡上)を萩原村長が訪問し、村より祝詞と敬老祝金を贈り長寿をお祝いしました。

ちよじさんは大正6年3月生まれで、大変お元気で「皆さんのおかげで、ここまで生きられました。」と感謝しておられました。

これからもお元気にお過ごしください。



『仙台ベルフィーユバレーボール教室』開催

3月18日(土)、村民体育館において宮城県を拠点として活躍するVリーグチーム「仙台ベルフィーユ」のコーチ・選手を講師として「バレーボール教室」を開催しました。

中学校男・女バレーボール部員、やまなみ男・女バレースポーツ少年団員と一般の方々約50名が参加し、サーブやレシーブなどの基本練習やゲーム形式の練習を行いました。

スピードのあるボールにも挑戦し、短い時間で上達する姿も見られました。



防火査察を行いました

2月26日(日)、春の全国火災予防運動を前に村内一斉の防火査察が行われ、消防団と婦人防火クラブの皆さんが各家庭にチラシを配布し火災予防を呼びかけました。

また、大瓜上地区では地区婦人防火クラブ研修会が行われ、黒川消防署員を講師に招き火災予防と防災に関する講話を聴き、防火・防災に関する意識を新たにしました。



中学校国際交流

2月24日(金)、中学校で公益財団法人宮城県国際化協会の国際理解教育支援事業として、カンボジアとパキスタン出身の方2名を講師に国際交流の授業が行われ、それぞれの国の学校生活や食文化について学びました。

英語での説明でしたが、講師の表情豊かな話に生徒たちは熱心に聞き入り、時折感心したり笑いが起きたりし、異文化への関心を高めていました。

